

## 教員（人的資源論）の公募について

このたび本学では、下記の要領で人的資源論担当の教員を公募します。

### 記

1. 職名および人員 教授または准教授 1名
2. 専門分野 人的資源論
3. 担当予定科目 <学部>  
人的資源論、経営学、その他経営学関連科目、プレゼミナール、専門演習 I～III  
<大学院>  
人的資源論特殊講義、特別研究 I～IV  
\*担当授業は増減および変更の可能性があります。
4. 応募資格
  - (1) 本学の「教員採用に係る基本方針（令和2年4月6日付け※）」を踏まえた資質を備えている者。  
※) [https://www.pu-kumamoto.ac.jp/sys/wp-content/uploads/2021/12/recruitment\\_policy.pdf](https://www.pu-kumamoto.ac.jp/sys/wp-content/uploads/2021/12/recruitment_policy.pdf)
  - (2) 博士号を有する者、または博士の学位に相当する教育研究業績を有する者（学位がなく准教授採用の場合は5年で再任不可。但し、任期中に学位を取得した場合は定年制へ移行。）
  - (3) 大学院博士前期課程および後期課程の担当が可能、または近い将来に可能な者。
  - (4) 教育、研究、地域貢献および学部・大学院の運営に熱意をもって取り組む意欲がある者。
  - (5) 採用後は熊本市もしくは近隣に居住することが可能な者。
  - (6) 年齢は問わない。（定年満65歳（定年に達した日以後における最初の3月31日を定年退職日とする））
5. 採用予定日 令和7年（2025年）4月1日
6. 所属 総合管理学部総合管理学科
7. 提出書類
  - (1) 履歴書（本学ホームページより様式をダウンロードして記載のこと）  
URL: <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/news/post-16285/>
  - (2) 教育研究業績書（同上。著書、論文の概要を記載）  
URL: <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/news/post-16285/>
  - (3) 上記研究業績中、主要なもの3編（抜き刷り又はコピーでも可）とそれぞれの要旨（1000字程度）を各1部
  - (4) 最終学歴を証する書面（卒業・修了証明書など）
  - (5) 赴任後の教育、研究、地域貢献に対する抱負（A4用紙1枚程度）
8. 選考方法 書類審査および面接（模擬授業等のプレゼンテーションを含む）  
\*本学までの旅費を支給します。
9. 書類提出期限 令和6年（2024年）9月27日（金）（必着）
10. 書類提出先
  - (1) 郵送の場合  
〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号  
熊本県立大学長 堤 裕昭  
（「人的資源論教員応募書類在中」と朱書し、書留で郵送してください。）
  - (2) 持参の場合  
熊本県立大学 総務課 総務班

- 1 1. その他 応募書類は原則として返却しません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法で廃棄します。返送を希望する場合は返送先住所、氏名を書いて、簡易書留代金相当分の切手を貼った返信用封筒を同封してください。
- 1 2. 問い合わせ先 熊本県立大学 総合管理学部長 宮園 博光  
電話 096-321-6651 (直通)  
FAX 096-383-2966  
e-mail miyazono@pu-kumamoto.ac.jp

1 3. その他

総合管理学部は、公共、ビジネス、情報を統合・体系化した総合管理学（アドミニストレーション）を専門的に教育・研究する学部です。学部創立以来 30 年以上、総合性を志向した人材育成を行い、多くの学生を地域に送り出してきました。令和 6 年 4 月からは公共・ビジネス・情報の専攻制を導入し、より学生の専門性を高める教育を行っていきます。

本学部には研究者の職場として以下のような魅力があると考えています。

- 一学部三専攻に法律・行政・福祉・経営・経済・情報など各分野の教員が所属しており、様々な学際的協働が行われています。
- 高い入試倍率を保つ公立大学の学部として、地元熊本県をはじめ全国各地から優秀な学生が集まっています。
- 充実した研究環境や学部独自のサバティカル制度の導入など、教員の研究支援に力を入れています。

学部では現在、地元企業をはじめとする地域産業への支援を強化する取組を構想中です。今回採用する方には、教育のみならず実務の分野でも活躍していただけるよう、本構想にもご参画いただくことを想定しています。

本学部の教育研究の趣旨にご賛同いただける研究者の皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

以 上